

# 総合周産期母子医療センター 新生児部門の全国状況

厚生労働科学研究、  
アウトカムを指標としベンチマーク手法を用いた  
質の高いケアを提供する  
「周産期母子センターネットワーク」の構築に関する  
研究班（平成18年度）

主任研究者 藤村正哲  
（大阪府立母子保健総合医療センター）

# 総合周産期母子医療センターNICU実態調査 平成18年

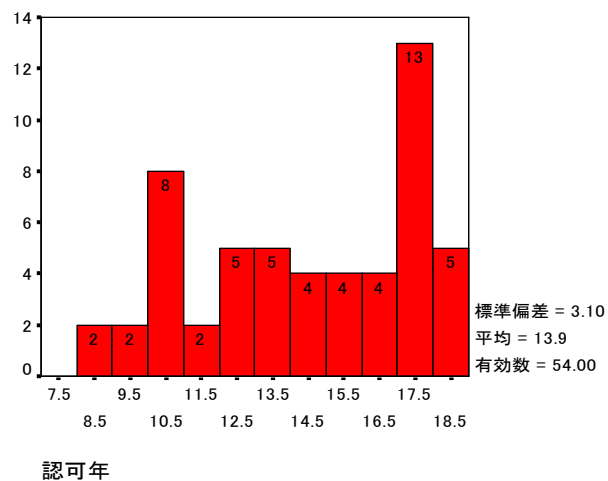
回答: 新生児部門責任者 回答数57(93.4%)

調査項目:

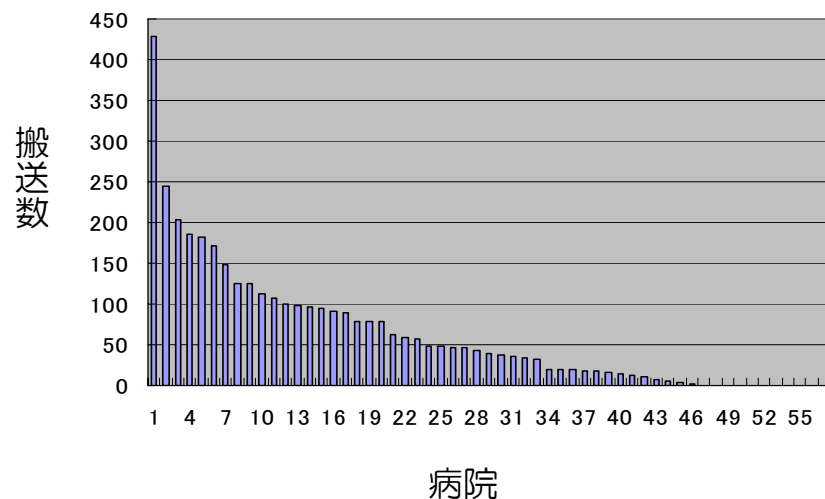
1. 新生児搬送、母体搬送、地域情報システムの構築
2. 病床数、分娩数
3. 小児科と新生児医療の人員体制

NICU: 新生児特定集中治療管理料認可の新生児治療室

総合周産期母子医療センターの認可年



新生児搬送数 (平成17年)



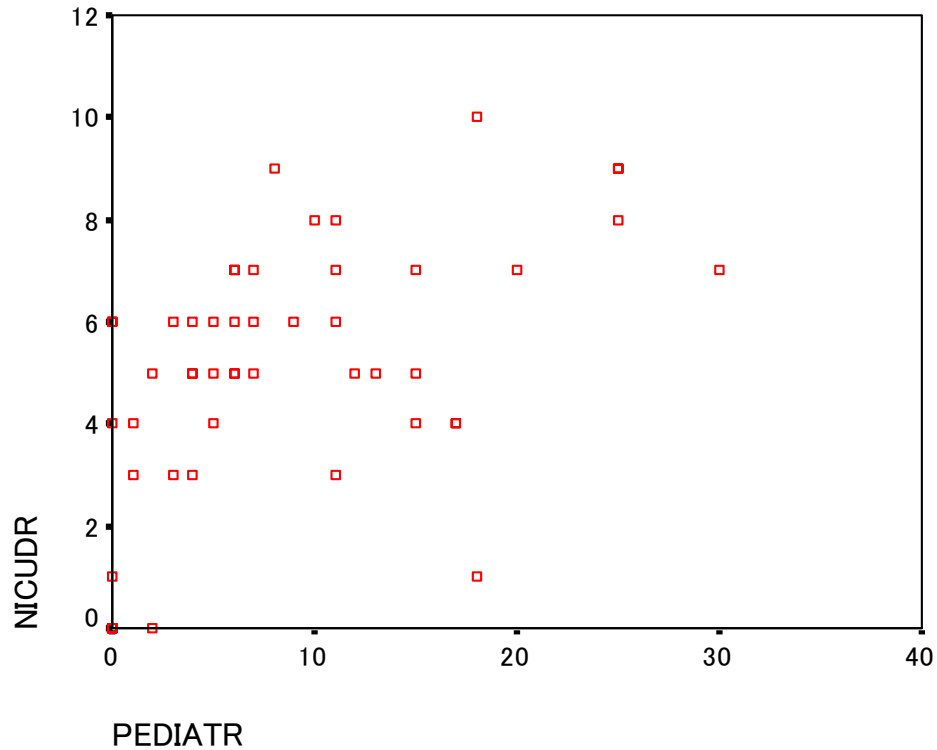
## 小括

## センター概要・機能について

総合周産期母子医療センター数	61（平成18年末現在）
地域NICU入院症例の共通データベース	平成8年に開始、最近4年間で倍増
地域搬送情報システム	49%にあり
母体搬送情報システム	88%にあり
新生児搬送情報システム	95%にあり
新生児搬送患者数	中央値 年間53例（最大426）
新生児搬送実施	92%、うち三角搬送実施が57%
	三角搬送は医師が91%（うち半数以上で看護師同乗）
	三角搬送は自院救急車が7割（うち4割は自治体救急車も）
新生児病床数	NICU 平均 12 (min 6、max 33)
	その他 平均 22 (min 0、max 96)
産科	分娩数 平均 706 (min 4、max 1985)
	医師数 平均 8 (min 3、max 28)
	病床数 平均 38 (min 16、max 100)
	MFICU 平均 7 (min 3、max 21)

# 小児科専従と新生児専従医師数

新生児専従医師数



小児科専従医師数

# 小括

# 新生児医療の医師定数と欠員数

## 総合周産期母子医療センター

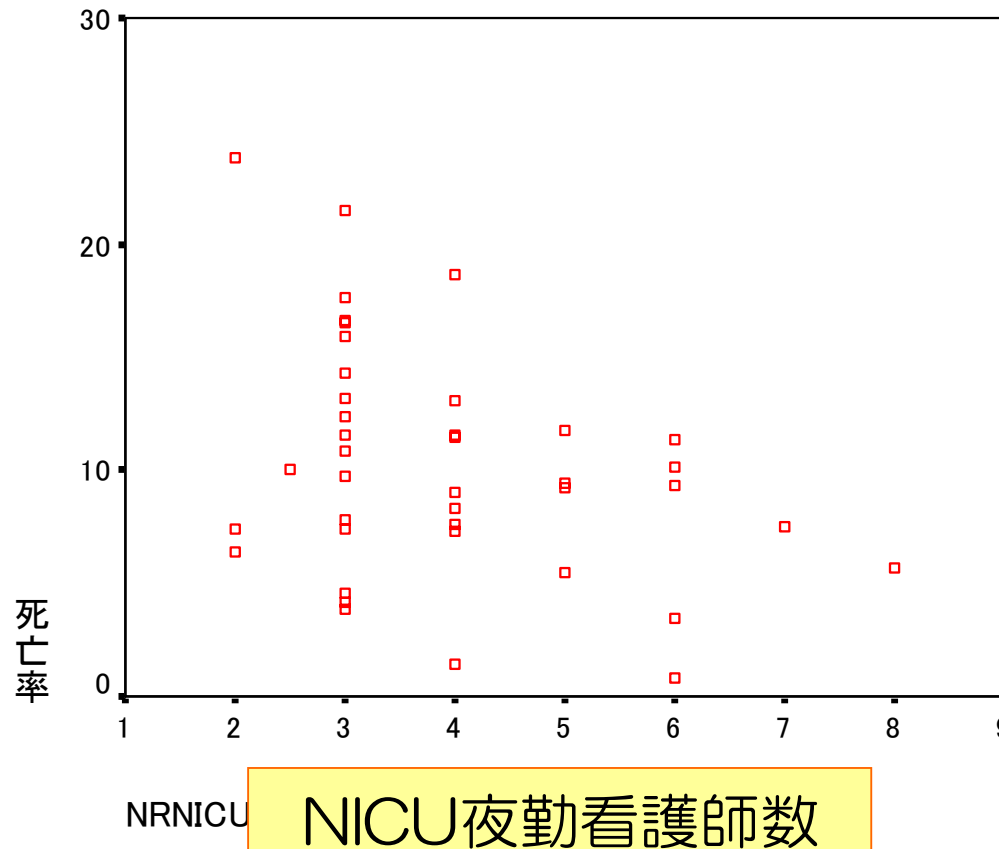
新生児専従			
	定員数	欠員数	欠員率
常勤医	280	41	15%
研修医	66	19	29%

主として新生児で一部小児科				主として小児科で一部新生児			
常勤医		研修医		常勤医		研修医	
定員数	欠員数	定員数	欠員数	定員数	欠員数	定員数	欠員数
65	16	19	3	69	5	26	1
	25%		16%		7%		4%

# <1500g死亡率とNICU夜勤看護師数

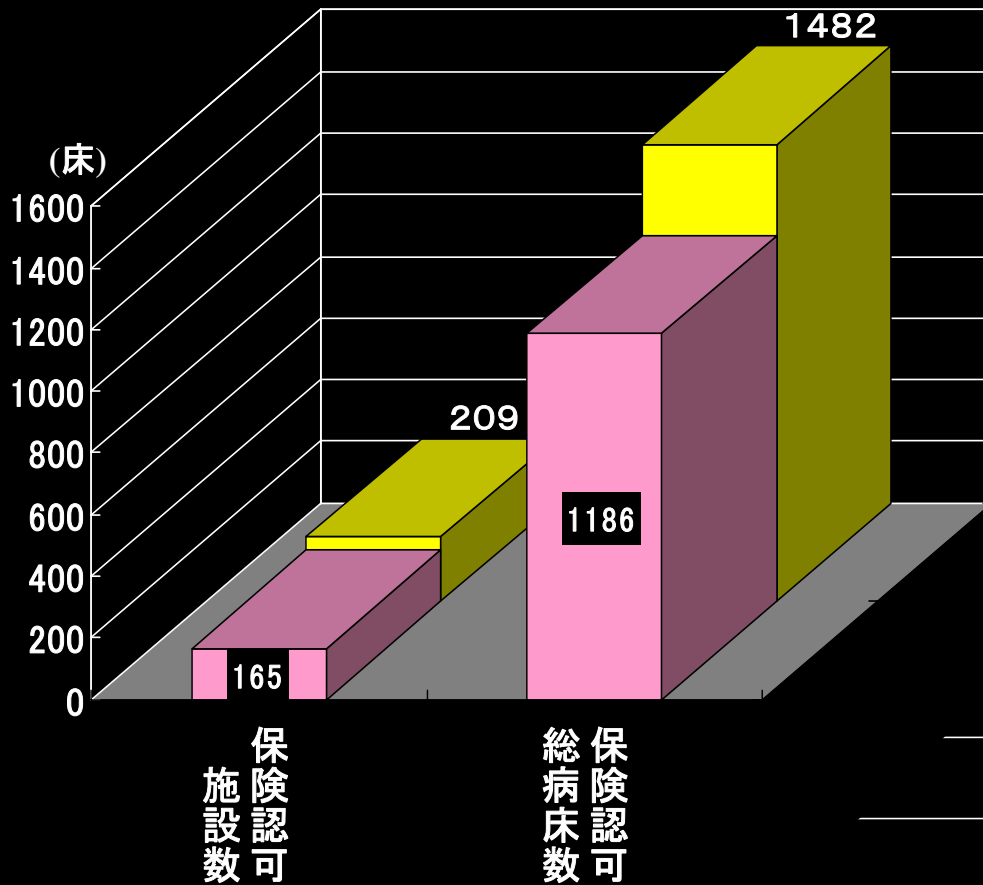
$r=-0.356, P=0.024$

死亡率

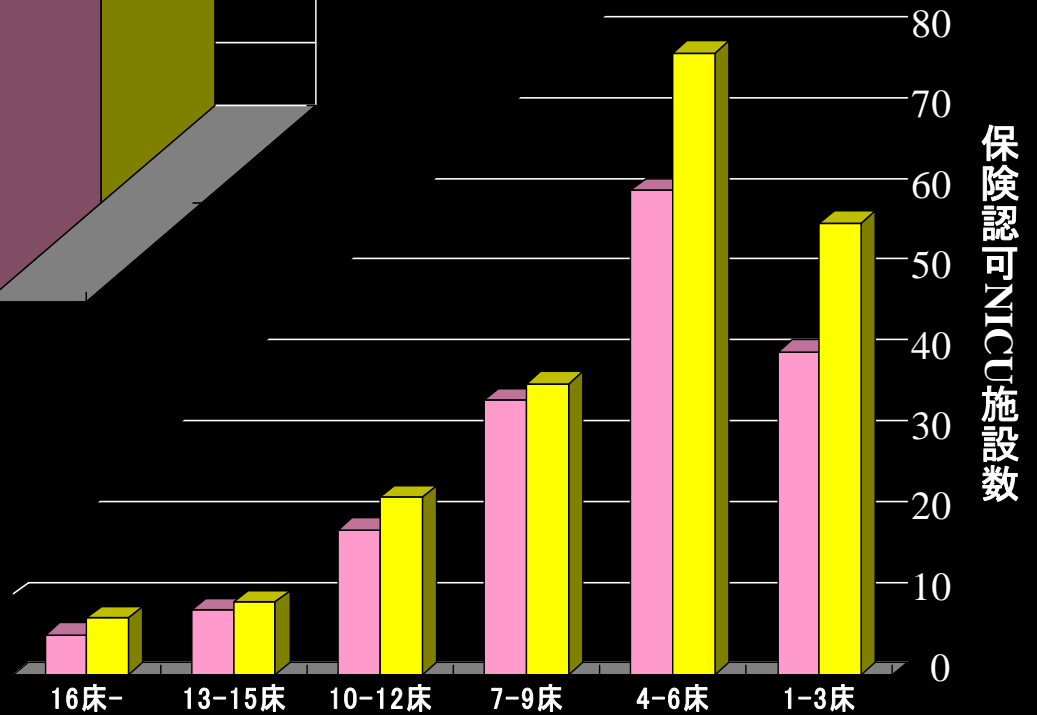


一定基準（3床に看護師一人）の下でも、大規模な施設ほど死亡率は低いことを示す

# 保険認可NICU病床



# 保険認可NICU病床の規模別施設数



■ 平成 9年度  
■ 平成12年度

保険認可NICU病床数

## 研究班からの提言

- 総合周産期母子医療センター57施設のNICU常勤医定数は280で、欠員は41(14.6%)である。NICU後期研修医定数は66で、欠員は19(28.8%)である。

○新生児科医師の過重労働を軽減して、NICU医療を確保しなければ、産科緊急医療を含めた周産期医療が危うくなる。

2. 分娩数が多いほど、また夜勤看護師数が多い施設ほど、死亡率は有意に低い。

○大規模でかつ良質な体制を整備した場合、ハイリスク新生児の生命予後はさらに改善することが示唆された。



# NMCS

## 大阪の新生児集中治療システム

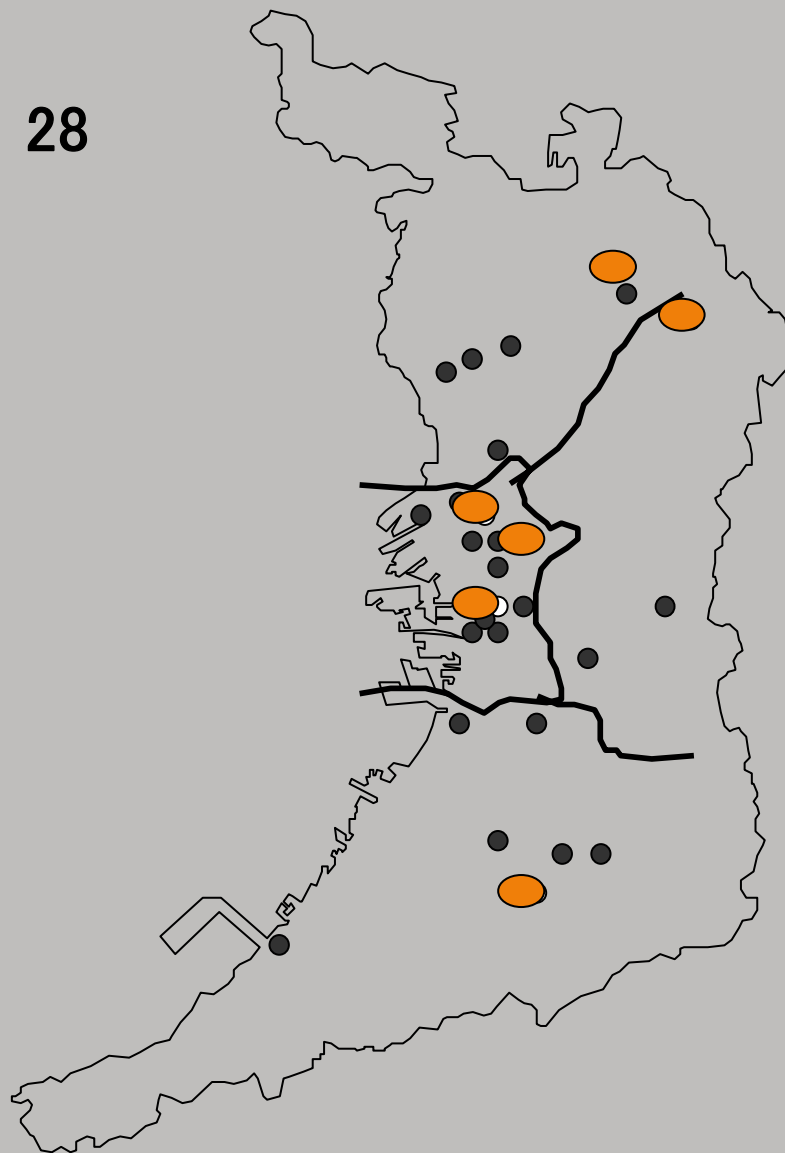
新生児診療相互援助システム (1977-)

Neonatal Mutual Cooperative System

# 大阪・新生児診療相互援助システム NMCS

参加施設数； 28  
(2007)

- 基幹病院
- 協力病院



# NMCS入院(1981-2004)

## 主な新生児疾患の出生体重別実数

(括弧内は死亡数)

	<1000g		1000g~		1500g~		2500g~		total	
呼吸窮迫症候群	1900	(502)	1916	(156)	1989	(70)	266	(12)	6071	(740)
新生児一過性多呼吸	195	(5)	823	(2)	3882	(7)	2762	(2)	7662	(16)
胎便吸引症候群	9	(0)	47	(3)	448	(16)	2241	(44)	2745	(63)
気胸	155	(103)	102	(35)	387	(41)	1054	(61)	1698	(240)
肺出血	132	(79)	108	(27)	169	(30)	325	(43)	734	(179)
無呼吸発作	432	(16)	1158	(10)	1222	(8)	401	(7)	3213	(41)
Wilson-Mikity症候群	294	(46)	160	(9)	41	(2)	6	(1)	501	(58)
気管支肺異形成症	390	(27)	147	(5)	29	(2)	1	(0)	567	(34)
動脈管開存症	850	(131)	776	(32)	702	(44)	319	(35)	2647	(242)
脳室内出血	755	(341)	363	(76)	269	(44)	15	(22)	1402	(483)
痙攣	33	(19)	37	(8)	158	(9)	720	(43)	948	(79)
心疾患	1006	(173)	1074	(82)	1750	(200)	1755	(183)	5585	(638)
敗血症	201	(131)	70	(17)	102	(17)	236	(23)	609	(188)
壊死性腸炎	71	(34)	36	(9)	32	(10)	21	(5)	160	(58)
胎便関連性イレウス	117	(20)	47	(1)	38	(1)	34	(2)	236	(24)
消化管穿孔	69	(38)	19	(5)	41	(8)	72	(15)	201	(66)
総入院数	3764	(966)	5622	(377)	21329	(688)	25100	(713)	55815	(2744)

死亡率4.9%

# 大阪・新生児診療相互援助システム (1977-)

NMCS=Neonatal Mutual Cooperative System)

## 目的及び事業

- 1.本会は中等度ないし高度の新生児診療を必要とする新生児を、産科及びその他の出生施設からの要請に応じて、**新生児診療施設に全数受け入れるための情報サービス・協力**を行う。
- 2.本会は新生児診療施設相互の交流を深め、その診療内容の向上をはかる。
- 3.本会は周産期医療の地域診療態勢の整備のため、具体的活動を推進する。
- 4.本会は上記1. 2. 3. の目的遂行に必要な調査・研究・教育・宣伝活動を行う。

( 1 )

- 中等度ないし高度の新生児診療を必要とする

新生児を、

- 産科及びその他の出生施設からの要請に応じて、

- 新生児診療施設に全数受け入れるための情報

サービス・協力を行う。